



蓬原の子

もしもの備え

校長 徳田 賢一

例年11月の第1週に実施される、かごしまの教育「県民週間」では、8日(土)の「ふつはら秋まつり」で、多くの保護者の皆様や地域の方々に参観していただき、手話やダンスを取り入れた歌や、難易度の高い曲の演奏など、一人一人の子供達が学習の成果を堂々と発表する様子を御覧いただきました。

また、5日(水)には、緊急地震速報の全国訓練に参加しました。緊急地震速報を見聞きした際に、それぞれの場面に応じた身の安全を確保する行動をとることで、実際に緊急地震速報が発表された時の適切な対応行動について考えさせ、日頃からの地震や津波への備えの重要性を再認識させることを目的としたものです。

志布志市は、南海トラフ地震と種子島東方沖地震の二つが影響が大きいと想定しています。本校でも、各種避難訓練を年間三回実施していますが、今後は回数を増やしていこうと考えています。繰り返し子供たちに伝えていることは、「自分の命は自分で守る」ということです。訓練は授業時に実施するので職員が寄り添っていますが、地震はいつ発生するかわかりません。子供たちが休みの日や家に一人でいるときかもしれません。訓練でもさまざまな状況を予測して取り組んでいます。毎回反省点が出てきます。今後もさまざまな状況を予測して訓練を繰り返し、子供たちの様々な危機に対応する能力を高めていきたいと思ひます。

東日本大震災や能登半島地震の教訓をいつまでも忘れることなく、地震や津波に対する備えを振り返り、万全の備えをしていきましょう。ぜひ御家庭でも話題にいただき、避難先や対応等について親子で確認していただきますようお願いいたします。

子供たちの2学期の登校日数も残り二十日程となりました。これから寒さも厳しくなります。換気等の感染症対策も併せて取り組み続け、健康な身体と心で学期末を迎えましょう。



11月5日に、先生方による『読み聞かせ活動』が行われました。担任以外の先生方が、子供たちに聞かせたい本を各自選んで教室に向かいました。

日頃あまりふれ合わない先生が教室に入ると、子供も教師も少し緊張感がありましたが、読み始めると熱も入って滑舌も良くなりました。楽しいひとときでした。



ふつはら秋まつり

去る11月8日(土)に『ふつはら秋まつり』が保護者や地域の方々をお迎えして、盛大に開催されました。

当日は県民週間の最終日でもあり、学校運営協議会や地域住民の方々も多数御来場いただき、子供たちの日頃の学習の成果をご覧いただきました。

令和7年 ふつはら秋まつり プログラム

《第1部》

	時 間	学 年	種 目	演 題
1	9:20 ~ 9:22	1 年	あいさつ	はじめの言葉
2	9:25 ~ 9:32	5 年	紙芝居	やまんばととらくん
3	9:35 ~ 9:42	1・2年	合唱 みこし	おらまつりとみこしパレード
4	9:45 ~ 9:52	3・4 年	合奏 ダンス・歌	アロハ・エ・コモ・マイ あいうえおんかく
5	9:55 ~ 10:02	6 年	合奏	『ライラック』
6	10:05 ~ 10:07	6 年	あいさつ	終わりの言葉
7	10:07 ~ 10:10	学校長	あいさつ	講 評

《第2部》

7	10:20 ~ 11:05	1・2年	あきまつり(お店の部)
---	---------------	------	-------------



1年あいさつ

5年紙芝居「やまんばととらくん」



1,2年みこしパレード

3,4年合奏・ダンス・歌



6年合奏「ライラック」

全校児童手話



1,2年 お店

当日参観された方々から数多くの賞賛の声をいただきました。「御神輿に元気をいただいた」「6年合奏が上手でした」「ビリーブに感動しました」など、子供たちの可能性を存分に評価していただきました。ありがとうございました。